

会員だより

我が故郷について

私の生まれ育った故郷を紹介したいと思います。生まれ故郷は三重県の伊賀市(旧上野市)という山に囲まれた盆地の町です。伊賀市は三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しており、近畿圏、中部圏の2大都市圏の中間に位置し、それぞれ約1時間程の距離です。

伊賀市は京都、奈良や伊勢を結ぶ大和街道・伊賀街道・初瀬街道が有り、昔から飛鳥、奈良、京都などに隣接する地域として、交通の要衝として栄えてきました。また、江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町としても有名でこのような地理的・歴史的背景から京・大和文化の影響を強く受けながらも独自の文化があり、伊賀忍者や俳聖松尾芭蕉のふるさととして広く知られております。このような歴史・文化的な背景を受け、三重県は東海地域に属しているものの、「伊賀は関西」という考えが古くから定着しております。

我が故郷、伊賀市の名所及び名物等をいくつか紹介させていただきます。



北川ヒューテック(株)中部支店
営業部課長 樽井 万彦



一つ目は、上野城です。上野城は、木造3層の復興天守閣で「白鳳城」と呼ばれる美しい城で、高石垣は黒沢監督の映画「影武者」のロケにも使われ、知る人ぞ知るお城であり、上野城からは上野の町が一望できます。

二つ目は忍者屋敷です。伊賀市は伊賀忍者の発祥の地である為、当時忍者が住んでいた忍者屋敷を再現した建物があります。どんでん返しや抜け道などあっとおどろく秘密の仕掛けがあり、くのいち(かわいい女性?)が実演してくれます。また、忍者の衣装を着て市内を散策したりもできます。

三つ目は、漂泊の詩人として有名な松尾芭蕉の故郷であることから、それに関連した史跡(芭蕉生家・養虫庵・排聖殿等)を楽しめます。

最後に伊賀市に寄られたときは、名物の伊賀牛や豆腐田楽を堪能してください。

また、お土産には忍者の携帯食といわれる「かたやき」をお勧めします。



旅の楽しみ方

今から5年前のゴールデンウィークに一大決心をして、イタリアに13日間の一人旅に行ってきました。航空券やホテルの予約、現地移動の手配もすべて自分で行う、完全な個人旅行です。何もかもお任せのパッケージ旅行と違って、個人旅行では自ら行程を考え、好きな場所を見つけたら何時間でも滞在するといった楽しみ方ができます。

そんな自由な旅でしたが、ある程度の目的を持って大まかな行程を考えていきました。ローマではダン・ブラウンが書いた『天使と悪魔』という小説の舞台となった場所を訪れること。そして、やはり職業柄、「全ての道はローマに通ず」で有名なアッピア街道やクラウディウス水道橋を見に行くこと。フィレンツェではTボーンステーキ、ヴェネツィアでイカ墨スパゲティ、ミラノではミラノ風カツレツを食べ、本場のサッカーであるセリエAを見に行く等々、計画を練っているときから楽しみは膨らみます。

異文化の中に入り、自分が異国人となることも楽しみの一つだと思います。フィレンツェの街でコインランドリーの使い方が判らず困っていた時、マフィアのようなイカツイ兄

さんが親切に使い方を教えてくれたこと。サッカースタジアムで見ず知らずのイタリア人と肩を組んで応援したことなど楽しい経験もありましたが、コロッセオの売店で釣銭をごまかされたり、ヴェネツィアのサンマルコ寺院で人種差別を受けたり日本では経験できないことを体験することができました。

このように、個人旅行にはパッケージツアーには無い楽しさがたくさんあると思います。いろいろな事に縛られ雁字搦めにされている日常から旅立ちましょう。 Bon Voyage!



常盤工業(株)
執行役員支店長 佐々木 清

